

愛媛県新しい公共支援事業運営委員会長 様

愛媛県知事 中 村 時 広

新しい公共支援事業実績報告の提出について

新しい公共支援事業実績報告書（平成 23 年度上半期）を提出する。

1. 新しい公共支援事業に関する都道府県の実績報告
様式 5-1 を参照。
2. 都道府県が実施した支援事業に関する結果報告等（ただし、委託した業務は除く。）
様式 5-2 を参照。
3. 提出された実施要領第 4 の 8 の報告書
様式 4-1、様式 4-2、様式 4-3、様式 4-4、様式 4-5 を参照。
4. 更新された事業計画書
様式 2 を参照。
5. 運営委員会の決定に関する実施要領第 5 の 4 (9) に基づく報告

運営委員会の決定等の内容	実施要領第 5 の 4 (9) に基づく報告（運営委員会の決定等に反する判断がなされた場合）に該当する事項なし
都道府県の判断	
判断の理由	

6. 広域的な取り組み（ガイドライン 6-6-5）及び内部組織間の連携（同 6-6-6）の状況

<ol style="list-style-type: none"> 1 広域的な取り組み 四国 4 県及び中間支援組織による「新しい公共支援事業に関する NPO 支援センター連絡会」に参加し、意見・情報交換による各県の実施状況等について情報共有を行なった。（6 月 10 日開催） 2 内部組織間の連携 県民活動推進課が窓口となり、関係部局との連携及び情報の一元化を図っている。

7. 添付書類
その他参考となる書類

新しい公共支援事業に関する都道府県の実績報告（平成 23 年度上半期）

1. 実施状況

1 「NPO等の活動基盤のための支援事業、寄附募集支援事業、融資利用の円滑化のための支援事業」及び「共通事務に関する事業」の一部について

「NPO等の活動基盤のための支援事業、寄附募集支援事業、融資利用の円滑化のための支援事業」の（1）融資利用円滑化支援事業、（2）中間支援組織活動基盤強化促進事業、（3）NPO等活動基盤強化ステップアップ事業、（4）寄附環境整備支援事業及び「共通事務に関する事業」の（5）地域貢献活動参加促進事業、（6）地域協働ネットワークづくり応援事業、（7）協働推進フォーラム開催事業、（8）情報公開促進事業の取組みについては、一括してプロポーザル方式により委託することとして、5月～6月にかけて募集した結果、応募が2件あった。7月に開催した運営員会第1回選定部会において委託先が選定され、具体的企画案の協議を経て、8月に委託契約を締結した。【※（ ）内の番号は様式4関係の整理番号】

具体的取り組みとしては、下記のとおり。

事業名	内容
融資利用円滑化支援事業	9月28日に事例調査を実施
中間支援活動基盤強化促進事業	9月30日に第1回の中間支援活動研究会を開催（5回開催予定）、参加者10名
NPO等基盤強化ステップアップ事業	9月13日に専門家派遣を実施（四国中央市社会福祉協議会）
地域協働ネットワークづくり応援事業	8月13日に「地域応援セミナーとうよ」準備会議（参加者6名）の開催及びアドバイザー派遣を実施

※ 委託事業の実施に当たっての総合調整、進行管理、検証、全国情報収集等を行なうための協議体（CCコンソーシアム）を組織している。

また、中間支援組織化応援事業では、6月に「協働による地域社会づくりセミナー」を3回（東予36名、中予34名、南予33名）開催するとともに、南予地域をはじめ県内のNPO等を訪問することにより、県内の実態把握に努めた。

2 新しい公共の場づくりのためのモデル事業

地域課題解決活動創出支援事業（NPO等支援重点化枠）のうち、県モデル事業については、プロポーザル方式により委託することとして、5月～6月にかけて募集した結果、応募が3件あった。7月に開催した運営委員会の事業の選定部会において委託先が選定され、具体的企画案の協議を経て、8月に委託契約を締結した。

市町モデル事業については、地域課題解決に向けたモデル的な事業について、5月～6月にかけて募集した結果、応募が19件あった。7月に開催した運営員会第2回選定部会において14件が採択された。（うち1件はNPO等支援重点化枠）

また、市町モデル事業の2次募集を9月から開始し、説明会等を開催した。

3 共通事務に関する事業（運営委員会）について

(1) 運営委員会の運営

- ①名称 愛媛県新しい公共支援事業運営委員会
- ②設置 平成23年4月14日
- ③委員数 10名
- ④構成 学識経験者、中間支援組織、NPO等2名、企業経済団体、会計専門家、金融関係者、一般市民、市町、県
- ⑤開催状況 第1回：平成23年4月27日（基本方針、事業計画等の検討）

選定部会（第1回）：平成23年7月15日（基盤整備事業等の選定）

選定部会（第2回）：平成23年7月28日（モデル事業の選定）

(2) 連絡調整会議への参加

平成23年6月9日（2名）

(3) 嘱託職員の採用

5月から協働コーディネーターとして嘱託職員を1名採用した。

2. 成果目標の達成状況

- | | |
|---|------------------------------------------------------------------|
| 1 | 県のHPでのNPO法人の情報開示率
最終目標 100% 上半期実績 93% |
| 2 | 支援対象となるNPO等の情報開示率
最終目標 100% 上半期実績 -（作業中） |
| 3 | 中間支援組織化応援事業など本事業への参加人数
最終目標 1800人 上半期実績 119人（達成率6.6%） |
| 4 | NPO法人会計基準を導入したNPO法人割合
最終目標 10% 上半期実績 -%（作業中） |
| 5 | あったか愛媛NPO応援基金への寄付者（団体）数（延べ）
最終目標 80 上半期実績 16（達成率20%） |
| 6 | つなぎ融資への利子補給事業により支援を受けた支援対象者による評価平均点数
最終目標 4点 上半期実績 0%（事業実績なし） |
| 7 | 南予地域における中間支援組織の設立数
最終目標 1団体以上 上半期実績 0 |
| 8 | 地域課題解決活動創出支援事業でのNPO等の新たな起業数（新たな事業展開数）
最終目標 5団体 上半期実績 0 |
| 9 | 地域課題解決活動創出支援事業に主体的に参加した団体数
最終目標 事業採択件数×5以上 上半期実績 0（事業実績なし） |

3. 全体評価

平成23年度上半期は、各事業の公募、選定等が主な取り組みとなったが、23年度下半期以降の取り組みを強化させ、NPO等の活動基盤強化等に結び付けていくよう事業を展開していく。

また、地域課題解決活動創出支援事業の市町モデル事業については、1次募集において11市町で19事業の提案があり、14事業を採択したところであり、新しい公共支援事業への関心が示されており、今後、各地域で取り組みが本格化することから、市町と連携して、地域自らが創意工夫しながら多様な主体が協働する仕組みづくりに努めてまいりたい。

なお、成果目標の達成状況については、事業採択が8月以降であることから個々みると評価できる段階にないものもあるが、引き続き委託事業者や中間支援組織、関係団体等と連携し、事業効果が最大限に発揮されるよう各取り組みを適切に進めることで、県内の「新しい公共」の拡大と定着を図っていく。

評価ランク	<input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった (該当する評価に『』を付けてください。)
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4. 個別実績報告の総括表

① 新しい公共支援事業（③を除く）

業務名 ※1	委託した場合は受託した団体等名	種別 ※2	自己評価
融資利用円滑化支援事業	社会福祉法人愛媛県社会福祉協議会	融	C
中間支援組織活動基盤強化促進事業	〃	基	C
NPO等活動基盤強化ステップアップ事業	〃	基	C
中間支援組織化応援事業		基	B
寄附環境整備支援事業	社会福祉法人愛媛県社会福祉協議会	附	C
NPO等つなぎ融資利子補給事業		利	—
地域貢献活動参加促進事業	〃	他	C
地域協働ネットワークづくり応援事業	〃	他	C
協働推進フォーラム開催事業	〃	他	C
情報公開促進事業	〃	他	C

※1 プロポーザル方式の発注を行ったものには“[提案方式導入]”、派遣専門家等の実績・評価を公表しているものには“[派遣評価公表]”、支援対象者の数や満足度が委託費の支払いに反映できる仕組みを導入しているものには“[満足度反映]”と記載してください。

※2 「種別」欄には、活動基盤整備支援に関連するものは「基」、寄附募集支援に関連するものは「附」、融資円滑化支援に関連するものは「資」、利子補給に関連するものは「利」、その他に関連するものは「他」と記載してください。（複数回答可）

② 支援対象者

事業名	団体・組織等名	種別 ※3	自己評価
NPO等活動基盤ステップアップ事業	四国中央市社会福祉協議会	基	B

※3 「種別」欄には、活動基盤整備支援に関連するものは「基」、寄附募集支援に関連するものは「附」、融資円滑化支援に関連するものは「資」、利子補給に関連するものは「利」と記載してください。（複数回答可）

③ モデル事業

事業名	団体・組織等名	分類 ※4	自己評価
地域課題解決活動創出支援事業(県モデル事業)	愛媛県／財団法人えひめ産業振興財団等	重	C
大学との連携による福祉の地域力を高める事業	松山市／桑原地区まちづくり協議会等	般	—
ほりえ港にぎわい再生事業	松山市／堀江地区まちづくりコミュニティ会議等	般	—
子育て情報パッケージング事業	今治市／今治ママ★コレ等	般	—
配偶者暴力相談支援センター設置に向けての支援体制充実事業	新居浜市／新居浜ほっとねっと(N)等	重	—
公共施設有効活用プラン提案事業	新居浜市／いはいま市民企画ノック(N)	般	—
青色回転灯装着車両(青パト)による安心安全な地域づくり事業	大洲市／大洲市少年補導委員会等	般	—

歴街道散策マップ等作成事業	四国中央市／土佐海道を歩こう会等	般	—
ふるさとの未来開拓『3Dお（さんどう）』プロジェクト	伊予市／住民自治されだに等	般	—
地域で生産される野菜の規格外品の販売と地元特産品の開発事業	西予市／川津南やちみる会等	般	—
市内ネットワークを活かした地域公共交通の改善・利用促進事業	東温市／東温市地域公共交通活性化協議会等	般	—
しまLABO～地域と学校の連携による地域課題解決モデル～	上島町／しまの大学（N）等	般	—
障害者就労モデルづくり事業～上島で育ち働き暮らしていくために～	上島町／上島ポップコーンの会（N）等	般	—
パートナーシップ組織が次世代へつなぐ持続可能なエコロジータウン内子	内子町／環境NPOサン・ラブ（N）等	般	—
新しい公共による環境教育・学習の推進と環境意識の醸成	愛南町／環境NPOあいネットワーク（N）等	般	—

※4 「分類」欄には、新しい公共の場づくりのためのモデル事業のうち、一般枠の事業は「般」、NPO支援重点化枠の事業は「重」、社会イノベーションの推進のためのモデル事業については「イ」と記載してください。